

【震災募金口座】 振替 00140-9-180881  
 宗教法人的日本バプテスト連盟総務部

### <原発課題班コラム>

原発課題班担当 濱野道雄

原発事故から4年が経とうとし、現地は新しい段階に入っています。政府や東京電力からの補償金の停止や減額が始まると同時に、健康被害はかえって増えることが予測されます。今こそ関心を薄くさせず、持続可能な、永い取り組みを共に行って参りましょう。

今回まで、昨年世界教会協議会(WCC)中央委員会から出された「声明：核から解放された世界へ」から掲載します。教会がなすべきこととその信仰的理由を考えましょう。(違う訳文ですが、「核のない世界に向けた声明」全文を日本バプテスト連盟のホームページから読むことができます。

<http://www.bapren.jp/uploads/photos/718.pdf>

### 世界教会協議会中央委員会「声明：核から解放された世界へ」より抜粋(3)

世界教会協議会中央委員会は、スイス・ジュネーブにて、2014年7月2～8日に会議を開き、上記のとおり、確認しました。このことを踏まえて、世界教会協議会中央委員会は、所属教会および関係する教役者および諸ネットワークに、次のように呼びかけます。

1. 核(原子力)エネルギーの民生および軍事利用について、倫理的・神学的な議論を継続し、深めてください。そして、核(原子力)エネルギーが何を目的としているのかを識別し、その本当のコストを見積り、誰の利益にかなっているのかを見極め、どの人権を侵害するかを判断し、健康と環境に与える影響を把握しよう。そして、核電力(原子力発電)を使用すること、あるいは核兵器で身を守ることに、何らかの証しが内在するかを考えてみよう。

2. 環境意識に富んだ霊性を育て、実践してください。こうして個人と共同体それぞれのライフスタイルに変化をもたらしてください。エネルギー消費・効率・保全について、そして再生可能な源を持つエネルギーの使用について、明確な変化をもたらしてください。世界教会協議会には環境意識の高い教会がある。その教会が積み上げた経験の上に、新たな世界を築いてください。

3. 核兵器(原水爆)や核発電所(原子力発電)関連の製造や輸出にしがらみを持っている会社や金融機関に対して、投資の引き上げを実行し、投資を止めよう働きかけてください。核兵器(原水爆)や核発電所(原子力発電)から、再生可能エネルギーの発展へと政府の投資を変更するよう、公的な声を上げてください。更に、核(原子力)関連の産業が終焉を迎える地域が支援されるように、政府予算が再配分されるよう、公的な声を上げてください。

4. 日本の福島第一原子力発電所災害の下に生きる人々や、太平洋の核(原水爆)実験の犠牲者等、核事故(原発事故)と核(原水爆)実験の犠牲者を、支援してください。牧会的な思いを込めて彼らと寄り添い伴走してください。法的措置と損失補償がなされるよう支援してください。同様に、核で武装している国々を国際司法裁判所に訴えたマーシャル諸島の法廷闘争を支援してください。

(略)

各国政府に向けて、核発電所(原子力発電所)を段階的に撤去することを、強く求めてください。そのためにも、エネルギー効率を上げて節約を進めるためにエネルギー利用を全般的に改革すること、炭素の放出や有毒廃棄物を削減すること、再生可能なエネルギー資源を開発することを、強く求めてください。

### 公開セミナー「ふくしまで出会った女性たち」報告

東日本大震災被災地支援委員 蛭川潤子(洋光台教会)

11月7日(金)に早稲田奉仕園(東京)で、福島移住女性支援ネットワーク事務局の前田圭子さんを講師に公開セミナーが開かれ、参加いたしました。小さな集まりではありましたが、東日本大震災後、福島で懸命に生活再建に頑張っておられる、外国にルーツをもつ移住女性の方々の様子や、また抱えておられる課題などを知る、貴重な機会となりました。福島は、国際結婚により外国から移住されてきた女性たちの多い地であることを初めて知りました。震災の被災者は日本人ばかりではありません。外国の方々もいます。そして地域社会の一員として暮らしておられるのです。しかし震災、そして原発事故による痛み、悲しみ、悩み、不安などの多くを抱えながらも、外国人であるがゆえに情報や支援から取り残されている方がおられます。私はその課題に、昨年、女性連合「あいあいプロジェクト」のつながりを通して気づかせて頂きました。

今回の公開セミナーは、知り続け、祈り続け、震災後の困難な課題を共有して歩み続けるための励ましを頂きました。2015年度は、世界祈禱週間献金の中からも、移住女性の方々をお支えすることになっています。祈り、そして共に生きる歩みが広がりますように。

### 仮設住宅・在宅被災者訪問支援活動(11月後半～1月)

現地支援委員長 金丸 真

次の通りご報告いたします。

- ・11/21(金)第39回野田村仮設訪問
- ・11/22(土)牡鹿半島支援
- ・11/25(火)亙理町在宅被災者宅訪問
- ・11/29(土)安渡カフェ
- ・12/1(月)小鍬第4仮設訪問/クリスマス
- ・12/2(火)小鍬第7仮設訪問/クリスマス
- ・12/12(金)第40回野田村仮設訪問/クリスマス
- ・12/13(土)牡鹿半島支援/・緑ヶ丘仮設訪問/クリスマス
- ・12/16(火)第69回宮前仮設訪問/クリスマス
- ・12/20(土)元浦屋敷仮設訪問/クリスマス
- ・12/22(月)安渡仮設・小鍬第四仮設・小鍬第七仮設  
クリスマスコンサート
- ・1/16(金)第41回野田村仮設訪問
- ・1/17(土)牡鹿半島支援
- ・1/19(月)第70回宮前仮設訪問

東日本大震災発生から四年になろうとしています。現地支援委員会では「東日本大震災から四年を数えての祈り」を作成して全国発送する予定です。この祈りが全国の教会・伝道所で用いられ、被災地の思いと祈りに心を合わせていただけるようにと願っています。皆様のお支えに心から感謝して。

震災募金にご協力ください 一般募金目標：1400万円

2015年1月までの実績 1017万円

目標までの不足額 383万円

<12月、1月「一般募金」募金者(受付順、敬称略)> 92名(口)の方々から献げられました。心から感謝申し上げます。

帯広、鹿児島、浦和、古賀、山形、丸亀城東町、日立、大泉、奈良、目白ヶ丘、福岡南、深作政子、調布、広島西、久保祐子、東福岡幼稚園、恵、横浜JOY、大分、恵星幼稚園、香住ヶ丘、福岡、京都、市川大野、横浜戸塚、光の丘幼稚園、高知伊勢崎、平塚、堀内由紀、野口真、枝光、広島、神戸、シオンの丘、相浦光、野方、大阪、四日市、平塚、西川口、古賀、飯塚、東京第一、鹿児島、平尾、富野、前橋、伊集院、那覇新都心、シオン山、日野神明、西南学院、浜松、丸亀城東町、のぞみのその幼稚園、高須、福岡有田、神愛幼稚園、中野、調布、福岡ベタニヤ村、現地支援委員会、宝塚、港南めぐみ、大村古賀島、伊集院幼稚園、仙台長命ヶ丘、鳥飼、南光台、神戸、府中、西南女学院、恵泉、福岡城西、品川、大宮、北大阪、福岡市民クリスマス実行委員会、古賀、かたえ、千葉、筑紫野南、鹿児島、国分、太田、仙川、小倉、春日原、大井、東京女子大学キリスト教センター、大分、福岡西部